

## 夜の中で

積み上げられ、そして捨てられてゆく時間  
消滅の時を待つ者が月を見上げている

微生物たちにより還元される速度は  
不定型に漏れ続ける言葉の列に近似している

言語の色彩が発明されて後  
詩はただに波長の揺らぎと干渉にすぎなくなった

官能のうしお潮満ちる水盤に  
羽化した昆虫が密かに朝を待っている

2つの針が遅れを取り戻すべく星を測り  
慌てふためいた表情を闇に隠す

無音の波に侵食されてゆく巖<sup>いわお</sup>よ  
お前は自由な変態を手にするがいい

(2001.9.16)